



主な科目の紹介

■ こころの科学、こころの科学：研究と実践

基礎・実証系から臨床・実践系まで、心理学の諸領域の基礎的知見や考え方を学ぶことにより、学問的俯瞰能力を習得する。

■ 心理学基礎演習

心理学とはどのような学問なのか。資料収集、文献講読、専門家のインタビュー、導入レベルの外国語の専門書の講読、発表を通して、理解を深める。

■ 心理統計法

心理学におけるデータ収集や、統計的分析の理論と実践について学ぶ。

■ 心理学基礎実験演習

教育心理学、社会心理学、発達心理学、臨床心理学、認知心理学における心理測定・実験・調査の基本技術を習得する。

■ 心理学専門英語

心理学の主要領域の英語論文を講読する。各領域の研究テーマや方法論について理解を深めるとともに、心理学の国際的な研究動向について学ぶ。

■ 心理臨床実習Ⅰ・Ⅱ

保健医療・教育・福祉・産業・司法等の領域における心理に関する支援、多職種連携の在り方、心理職の職業倫理等について、学内外で実習を通じて学ぶ。

お茶の水女子大学 生活科学部 心理学科 概要

設置時期：2018年4月

修業年限：4年

取得学位：学士（心理学）

入学定員：26名

教員数：10名

取得できる主な資格：社会調査士、
認定心理士、学芸員（博物館）、
公認心理師（公認心理師国家試験を受験
するために必要な科目の履修が可能）

入学金：282,000円（予定額）

授業料：半期 267,900円（予定額）

キャンパス所在地：

東京都文京区大塚 2-1-1

丸ノ内線「茗荷谷」駅 徒歩 7分

有楽町線「護国寺」駅 徒歩 8分

詳細・お問い合わせ先

生活科学部心理学科ウェブサイト

<https://www.hles.ocha.ac.jp/ug/psy/>

入試に関するお問い合わせ先

入試課 nyushi@cc.ocha.ac.jp



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

2022年4月



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

生活科学部

心理学科



人をみつめ、

人の不思議を理解し、人を支える

こころを科学し、

こころと向き合う力は人と社会を成長へ導く

現代社会には生活場面における判断・意思決定、対人認知、コミュニケーション、心理的問題（うつ、自殺等）、発達・健康上の問題（発達障害、高齢化等）、災害・犯罪、避難生活、非行・いじめなど、複雑で多様な問題が存在します。

心理学は、人間の心理的プロセスを科学的に解明し、エビデンスに基づいて、社会的問題や課題の解決を目指す学問領域であり、人間生活の様々な場面で横断的に、様々な領域と学際的に関わる学問です。こころを科学し、こころと向き合う力は自らの生きる力となり、人を支援する力にもなるでしょう。

（公認心理師受験資格対応）

心理学科の目的

Scientist-Practitioner (科学者-実践家) の養成

心理学科では、心理学の基礎教育と共に、生活の実践に活かす教育を行います。つまり、様々な生活環境・場面における人間の心理・行動に対し、その基礎的なプロセスと機能への深い理解と科学的な見方を培い、それを課題の発見と問題の解決に活かす力を養います。そして、人に対するあくまでも真摯な姿勢と科学的方法を身につけ、心理系の資格を取得しながら、様々な場面で実践的役割を果たし、社会貢献を行うことができる人材、すなわち Scientist-Practitioner (科学者-実践家) の養成を学科の目的としています。

カリキュラムの概要 (注) 下記は履修科目の一部です

	主プログラム		強化プログラム	
	講義	実習・演習	講義	実習・演習
1 年 次	こころの科学 こころの科学：研究と実践 心理学選択基礎 認知心理学概論	発達心理学概論 教育心理学概論 社会心理学概論 臨床心理学概論	心理学基礎演習	
2 年 次	心理統計法 学習と言語の心理学 認知神経科学 応用社会心理学 健康心理学 感情・人格心理学	心理臨床アセスメント 発達臨床心理学 心理療法学 障害臨床心理学 コミュニティ心理学	心理学基礎実験演習 心理学基礎実践演習 心理学実践演習：質問紙法 心理学実践演習：質的研究法	心理職の職業倫理
3 年 次	心理臨床に関する法と制度 心理学専門英語	認知心理学演習 認知発達心理学演習 社会心理学演習 ジェンダー心理学演習 健康心理学演習	障害臨床心理学演習 心理療法学演習 人格発達心理学演習 心理臨床学演習 学校臨床心理学演習	臨床医学概論 産業心理学 家族心理学
4 年 次	卒業論文			

特色

理論と実践を系統的に、段階的に学ぶ

心理学科の教育プログラムは、基礎・実証系心理学と臨床・実践系心理学の科目群を融合した形で構成されています。これにより、①様々な生活領域の課題から問いを立て、実証する科学的探求を志向する人材、②科学的実証の視点や方法論を獲得し、各種の生活領域に応用する実践的視点とスキルをもつ人材育成が可能となります。

心理学科では、基礎・実証系心理学と臨床・実践系心理学とを融合した新たな専門領域として、「認知・生物系」、「社会・福祉系」、「医療・健康系」、「発達・教育系」の4つの系列を設置し、それぞれに専門応用講義科目群、専門応用演習科目群を配置しています。

教員

	氏名	研究分野	主な担当科目
認知・生物系	教授 上原 泉	発達心理学 認知心理学	発達心理学概論 学習と言語の心理学
	准教授 今泉 修	認知心理学 実験心理学	認知心理学概論 認知神経科学
社会・福祉系	教授 坂元 章	社会心理学 情報教育	社会心理学概論 応用社会心理学
	准教授 石丸 径一郎	ジェンダー心理学 認知行動療法	臨床心理学概論 心理学実践演習：質問紙法
医療・健康系	教授 大森 美香	健康心理学	健康心理学 心理学基礎演習
	准教授 山田 美穂	身体的心理療法 援助者養成教育	発達臨床心理学 心理臨床アセスメント
2022 年 10 月に臨床心理学の教員が着任予定			
発達・教育系	准教授 高橋 哲	犯罪心理学 心理アセスメント	司法心理学 心理臨床学
	准教授 伊藤 大幸	教育心理学 発達心理学 心理計量学	教育心理学概論 心理統計法
	助教 砂川 芽吹	発達障害児・者 臨床心理学	障害臨床心理学 学校臨床心理学